

施設評価シート（中学校）

110

（平成20年度事業）

施設名	備前市立備前中学校	問	担当課（室）	教育総務課
		合	職・氏名	課長代理・坪本弘毅
所在地	備前市伊部1857番地	先	電話	0869-64-1802
			所属長職・氏名	課長・山本健次

根拠法令等	名称	学校教育法第1条、2条、20条、45条ほか		
総合計画上の位置付け	基本目標	03 地域文化と人が輝くまちづくり	基本施策	01 未来を支える人材を育むまちづくり
	施策	02 小・中学校	事務事業名	03 中学校管理運営事業

対象	（この施設運営によりサービスを受けるのは誰か？）		
	市立中学校生徒		
目的・意図する成果	（この施設運営によってどのような状態を目指しているのか？）		
	中学校において、地域や学校の実態、生徒の発達段階や特性を生かすよう考慮して編成した教育課程を達成できるよう管理運営を行います。		
施設内容 規模 建設年月	施設内容	規模	建設年月
	校舎 5,319㎡	鉄筋コンクリート造3階建 4,666㎡	昭和38年3月
	普通教室 15室 1,013㎡	鉄骨造 653㎡	昭和39年12月
	特別教室 21室 2,201㎡		
	屋内運動場 1,300㎡	鉄骨造 1,300㎡	昭和43年1月
管理運営方法	<input type="radio"/> 一部委託 <input checked="" type="radio"/> すべて直営 （一部委託の内容）		

経費	年度	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	単位
	維持補修費		2,230	1,784	1,762
物件費		10,531	9,462	9,154	千円
補助費		0	0	0	
その他経費		5,801	5,867	5,806	千円
	合計	18,562	17,113	16,722	千円
財源	保育料・使用料・授業料・給食費等	395	398	89	千円
	一般財源	18,167	16,715	16,633	千円
園児・児童・生徒数		504	517	499	人
1人当たりコスト（一般財源）		36,046	32,331	33,333	円

参考	人件費 （市費のみ）	正規職員	0.0 人	0	0.0 人	0	0.0 人	0	人/千円	
		臨時職員	常勤	3.0 人	7,500	3.0 人	7,686	3.0 人	7,821	人/千円
			非常勤	2.0 人	2,180	1.0 人	1,090	4.0 人	4,360	人/千円

園児・児童・生徒数の推移	（単位：人）									
	年度	H18	H19	H20	H21	H22(見込)	H23(見込)	H24(見込)	H25(見込)	H26(見込)
	(1年)	174	183	148	156	161	165	145	146	143
	(2年)	162	172	179	148	156	161	165	145	146
	(3年)	168	162	172	178	148	156	161	165	145
	(4年)									
	(5年)									
	(6年)									
計	504	517	499	482	465	482	471	456	434	

平成21年度の状況及び管理運営の改善案	生徒数は年度によってばらつきがあるが減少傾向である。施設の老朽化も進んでおり維持補修費は増加する傾向にある。日常点検の励行など、引き続き節減努力をしている。
---------------------	--

施設修繕・大規模改修費用（今後5年間：平成22年度から平成26年度）						
毎年経常的に必要な修繕費	内容	金額（千円）	今後5年間に必要となる大規模改修費	内容	金額（千円）	
					敷地外周フェンス新設	1,588
					防球ネット新設	2,810
					太陽光システム新設	25,264
		750			校舎耐震改築	405,216
					校舎耐震補強	126,640
			屋根耐震補強	47,164		

総合コメント	生徒数は、年度間にばらつきがあるが減少傾向にある。経常経費である施設管理費の削減については、職員へ削減意識が浸透し、節減努力により年度間のばらつきもあるが、一定の効果は上がってきている。今後も光熱水費使用量の管理、正規職員の退職不補充・臨時職員の切替など、経費削減の努力を継続していく必要がある。生徒数は減少傾向にあり、将来の備前市全体の中学校のあるべき姿について、学校教育や地域における役割、財政面など、全体的見地に立って多方面から検討する必要がある。
--------	---